



# 志友会報

802-0985 北九州市小倉南区志井6丁目11-13  
(株)網武出版 093(962)7740 FAX093(961)8224  
Eメール: saigoa@skyblue.ocn.ne.jp

本紙の年間購読は本体3,000円+税です。

## 合気語録

圧倒的な力を誇る優勢な敵に対しては、死を覚悟した上で、なおかつ、どこまでも尖鋭な矛盾を解決し、生き残るつなどは夢にも思わぬことである。戦闘において、自分の身に付けた伎倆や力量の数々は、「二乗均等の法則」が作用していることを忘れてはならない。

読者諸氏は藤猛という、ハワいの日系三世で、ウエルター級の世界チャンピオンであったボクサーを覚えていたのだろうか。彼はハードパンチャーであり、一撃必殺のハンマーパンチを売り物にして、常にKO勝ちして世界チャンピオンになったボクサーである。

大和魂を売り物にして、一世を風靡して人気者になり、その人気が裏に映画化までされ、片言の日本語で、テレビコマーシャルに登場し、「岡山のおばあちゃん」と「勝つて兜の緒を絞めよ」とは、彼の口癖であった。当時、大学生であった著者はこのタイトルマッチが放映された時、藤のハンマーパンチの一発KO勝ちの場面を期待して、テレビに食い下がったものである。恐らくこの試合の観戦者はあるいは日本中が、藤の勝ちを信じて疑わなかったはずである。しかし試合は予想外の展開となった。

### 西郷派大東流合気武術

小が大を倒す

その戦力は六割一〇ではなく、三十六対一〇となり、六割の戦力は全体の六割ではなく、三六%であり、全体比率からすると、三割強が六の方の実力であり、六の方は全滅するまで戦つても、敵側に与える損害は僅か二割程度でしかないということなのである。しかし一〇を誇る兵力も、全くの無傷というわけではなく、僅かといえども、二割の損害が出るということなのだ。一方が全滅覚悟で、死を覚悟して戦つた場合、強者といえども無傷ではすまされないという結果が出るのである。

読者諸氏は藤猛という、ハワいの日系三世で、ウエルター級の世界チャンピオンであったボクサーを覚えていたのだろうか。彼はハードパンチャーであり、一撃必殺のハンマーパンチを売り物にして、常にKO勝ちして世界チャンピオンになったボクサーである。

大和魂を売り物にして、一世を風靡して人気者になり、その人気が裏に映画化までされ、片言の日本語で、テレビコマーシャルに登場し、「岡山のおばあちゃん」と「勝つて兜の緒を絞めよ」とは、彼の口癖であった。当時、大学生であった著者はこのタイトルマッチが放映された時、藤のハンマーパンチの一発KO勝ちの場面を期待して、テレビに食い下がったものである。恐らくこの試合の観戦者はあるいは日本中が、藤の勝ちを信じて疑わなかったはずである。しかし試合は予想外の展開となった。

1ラウンドか2ラウンドで、ケリが着くと思つていた試合はズルズルと長引き、最初は言めてかかっていた藤は、対戦者二コリノ・ローチェの、その意外なしぶとさに驚き、回を重ねるごとに当惑した表情を露にしていた。これでフアン期待は大きく裏切られた。

対戦者は、巧みなフットワークとガードで、藤のパンチを躰し、一打も当てさせない儘、回が重なつて行った。

焦りと恐怖を払い除けようとして繰り出す藤のパンチは、悉く空を切って、対戦者を一発も捕まえることが出来ず、体力の消耗だけが加速して行った。

そんな中、対戦者は小刻みに弱い打法でパンチを繰り出し、然も正確に顔面を捕えて攻撃を加えて行った。

対戦者は打ち続け、藤は一方的に打たれ続けた。その結果、ついに藤は、自信を喪失して戦

## 合気戦闘理論 その一

智慧の集積であり、人間心理の流れを見抜いて、戦法として、より効果的に、現実社会をイメージして、これを智慧に反映させて、無駄なく、効果的にそれを用いる事である。したがって相手にダメージを与える事ばかりを考えて、我田引水的な、手前味噌の策略を展開すれば、必ず自分に跳ね返り、最終的には行き詰まる結果を招き兼ねない。まさに「策士、策に溺れる」の例えである。

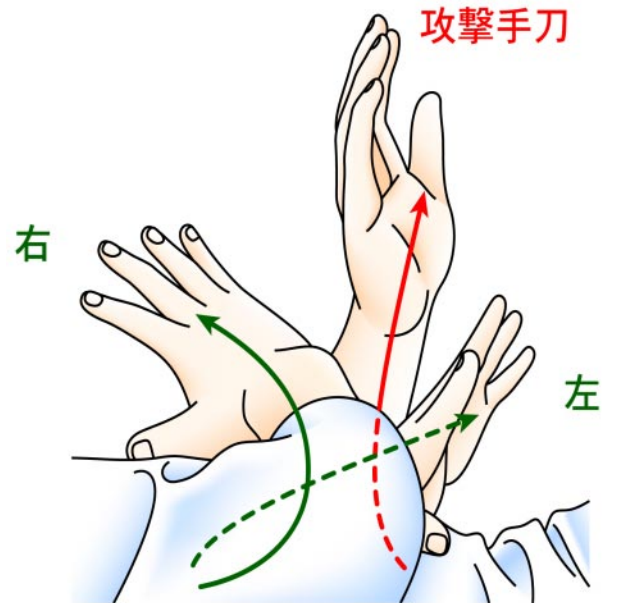
主観的に世の中を見回して、自分以外に敵である。しかしいつか、彼我がかわり、何人もを敵に廻していった。心はいつまでも休まる事がない。必要以上の、あらゆる緊張は、疲弊して墓穴を掘るからである。

人間社会の実態は、人間相互が敵であると共に、また、仲間でもあるのだ。何事も、冷静に、客観的に物事を洞察する観察眼が必要である。

自他の間に境目を造り、自分以外を敵と看做す考え方は、必ず行き詰まるものである。したがってこうして現実を踏まえて、「敵性」と「味方性」を迅速に見抜き、それを適切に使い分けの事が肝腎である。この適切な「策」が策略であり、自他共に合気戦闘理論において、絶対に見

う気力を無くし、試合放棄をしてリングを下り、結局判定負けになった。藤にしてみれば、15ラウンド中、一度のダウンも奪うこともなかった。藤の闘い振りが、ただただ敗北に向かつて、一直線という試合が、何とも印象的だった。

これは意外な試合展開であったというより、体力主義だけが必勝の条件になるという格闘技の常識を、端から否定した出来事ではなかったらうか。運命には度々番狂わせがあり、



敵の攻撃手刀の攻撃方向を上へ外すように浮かし揚げる。

### 十字手受けの流し揚げ

闘いは、何も己の肉体を酷使して闘うだけが能ではない。己の魂と闘う、己の裡側に向けて格闘することも大事なのである。魂への格闘を、古人は勝負師の名で「闘魂」という言葉に準えた。

したがって闘魂は、日夜地道な努力と、己との格闘が必要になってくる。

テレビのコマーシャルなどに出て人気者になり、取り巻に英雄視され、その時代に甘やかされ、また、人からちやほやされ

闘いは、何も己の肉体を酷使して闘うだけが能ではない。己の魂と闘う、己の裡側に向けて格闘することも大事なのである。魂への格闘を、古人は勝負師の名で「闘魂」という言葉に準えた。

したがって闘魂は、日夜地道な努力と、己との格闘が必要になってくる。

テレビのコマーシャルなどに出て人気者になり、取り巻に英雄視され、その時代に甘やかされ、また、人からちやほやされ

逃せない事実が、「大は小より強い」という、絶対に覆えずの出来果に、現実社会をイメージして、これを智慧に反映させて、無駄なく、効果的にそれを用いる事である。したがって相手にダメージを与える事ばかりを考えて、我田引水的な、手前味噌の策略を展開すれば、必ず自分に跳ね返り、最終的には行き詰まる結果を招き兼ねない。まさに「策士、策に溺れる」の例えである。

主観的に世の中を見回して、自分以外に敵である。しかしいつか、彼我がかわり、何人もを敵に廻していった。心はいつまでも休まる事がない。必要以上の、あらゆる緊張は、疲弊して墓穴を掘るからである。

人間社会の実態は、人間相互が敵であると共に、また、仲間でもあるのだ。何事も、冷静に、客観的に物事を洞察する観察眼が必要である。

自他の間に境目を造り、自分以外を敵と看做す考え方は、必ず行き詰まるものである。したがってこうして現実を踏まえて、「敵性」と「味方性」を迅速に見抜き、それを適切に使い分けの事が肝腎である。この適切な「策」が策略であり、自他共に合気戦闘理論において、絶対に見

**西郷派大東流合気武術総本部**

## 春季近畿関西講習会

平成16年 3月 28日 (日) 午後 1時 ~ 3時

講習会場: 大津市立皇子が丘体育館 (小体育館)

JR湖西線・西大津駅下車 (側道に沿って徒歩5分)

詳しくは下記のHome Pageを御覧下さい

<http://www.daitouryu.com>

**講習会費用: 10,000円**

**指導内容:**  
 宗家直伝による講習会。合気揚げを中心にした力貫・合気初伝から奥伝・合気柔術合気行法・食養野草の智慧・霊的食養道などの講話。

お問い合わせ: 総本部尚道館 093(962)7710 (代)

イラスト/ 龍川 彰